



高輪だより

令和6年度12月号

港区立高輪幼稚園

園長 佐藤 幸子

わくわく ぼかぼか
みんなえがおの
たかなわようちえん

一人ひとりが輝くたかなわの子
～豊かな関わりの中で育ち合いを支える指導の工夫～

園長 佐藤 幸子

園庭に落ち葉の舞う季節になりました。子どもたちは、綺麗な色や形の落ち葉を見つけて大切にしたり、ご馳走に飾ったりして遊んでいます。

過日、本園は、令和5・6年度港区教育委員会研究奨励園として研究発表を行いました。当日は、区内外から200人余りの方が参会されました。

本園では、落ち着いた場が確保され安心して自分を出せる少人数のよさを生かして、幼児同士が豊かに関わられるように教育活動を工夫してきました。

交流の部屋として活用しているぼかぼかルームでは、すみれ組がころころコースを作って、うめ組、うさぎ組も遊びに行きました。すみれ組は、小さい子どもたちが楽しめるように動きや言葉で伝え優しく関わっていました。この姿は、自分がしてもらった経験や日頃一緒に遊んだり生活したりして親しんでいるからこそその自然な関わりでした。

運動会のすみれ組の旗の踊りに憧れたうめ組の子どもたちは、当初は、すみれ組の旗を借りて踊っていました。遊んでいるうちにやりたい気持ちが高まり、自分で旗を作って踊るようになりました。キレのある動きやぴんと手足を伸ばしてポーズを決めるところなど、すみれ組そっくりです。2階の絵本コーナーで踊っていたのですが、段々にすみれ組の前の廊下で踊るようになり、最近では、ぼかぼかルームの隅に場を作ってうさぎ組も加わって楽しんでいます。この遊びを支えているのは、幼児の姿を「うめ組がすみれ組に見てほしい、関わりたい気持ちの表れであると、温かく受け止めて喜び合う先生たちです。

幼児教育は、日々の積み重ねです。今まで、先生たちが一人ひとりの思いを大切に受け止めて、やりたいことができるように、その子らしく思いを出しながら友達と関われるようにと考え、工夫してきた成果が幼児の姿に表れています。加えて、日頃から本園の教育活動にご理解、ご協力をいただき、温かく支えてくださる保護者の皆様のおかげと感謝しております。

今しかない幼児期の子どもたちを支え、保護者の方と一緒に成長を喜べるように教職員一同、さらなる教育活動の充実に勤めて参ります。今後とも変わらぬご理解とご協力をお願いいたします。



落ち葉を集めよう



コロコロコース楽しいね



一緒に踊りたい